



2020年10月2日

## トヨタモビリティ東京株式会社

### AED（自動体外式除細動器）で同僚社員を救命し東京消防庁から感謝状

トヨタモビリティ東京株式会社（社長 片山 守）新宿明治通り北店の伊藤副店長以下5名は、7月10日、東京消防庁新宿消防署（石井 千明 署長）から、迅速適切な救命処置を行い救命した功勞に対し感謝状を贈呈された。

同店のスタッフ5名は6月15日、店舗事務所内の自席で、突然意識を消失し心肺停止状態に陥った同僚社員に、咄嗟の判断とチームワークを発揮し救命活動を行った。副店長が救急車手配と店舗に設置してあるAEDを装着。サービスエンジニアがAEDを操作。スタッフが交代で救急車到着まで胸骨圧迫（心臓マッサージ）を実施。約20分に及ぶ救命活動の後、救急車で医療センターに搬送。担当医師より「心肺停止時間が長かったため、意識回復は困難かもしれない」と告げられた。

数日後、搬送された社員は意識を回復。一命をとりとめた。担当医師より、「店舗内で実施したAED使用と心臓マッサージが効果的であった」と店舗内での救命活動を評価された。

当社は、都内のほぼ全店舗にAEDを配備し、スタッフの救命講習を定期的に行っている。サービスエンジニアは「AEDの操作は初めてだったが、講習で得た知識が役に立って良かった」と当時の様子を回顧した。

当社はこれからも、お客様と社員の安全、安心を守る取り組みを進めてまいります。



<店舗に配備されているAED(自動体外式除細動器)>



<感謝状を贈呈された新宿明治通り北店スタッフ>

以上

## トヨタ モビリティ東京株式会社

<https://www.toyota-mobi-tokyo.co.jp>

ご取材の問い合わせ：CSR推進部広報グループ 中川

TEL 03-5439-2430 FAX 03-5439-8244